

ジャヤ・ジャヤ・シヴァ・シャムボー

グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダによる作詞作曲

जय जय शिव शम्भो । जय जय शिव शम्भो ।

महादेव शम्भो । महादेव शम्भो ॥

jaya jaya śiva śambho | jaya jaya śiva śambho |
mahādeva śambho | mahādeva śambho ||

何度も何度も、吉兆なる者であるシヴァ神に、

慈悲深き者であるシャムブ神に勝利を！

偉大な神であるマハーデーヴァ神に、

すべての幸福の源であるシャムブ神に勝利を！

クンティー・ファンフルによる紹介

シッダ・ヨーガのミュージシャンの一人として、「ジャヤ・ジャヤ・シヴァ・シャムボー」をハーモニウムで演奏する時はいつも、私は純粋な喜びと神の無限の本質への畏敬の念を体験します。このナーマサンキールタナが始まると、まるでハーモニウムの鍵盤上の、私の指先の上で神自身が踊っているように感じ、すぐに自分が演奏していることを忘れます。この感覚は、音の力を通して神の存在をただ祝わずにはいられなくなるほど、恍惚(こうこつ)としたものになります。このチャンティングの音階はヘビのようにらせん状に上下するため、私がシヴァ神の境地だと考える動きの、至福に満ちた自由を体験します。私の心に現れるこのイメージは、シヴァ・ナタラージュ——マインドの幻想と創造の二元性を追い払う踊るシヴァ——です…

シッダ・ヨーガのグル、グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダは、1988 年のマハーシヴァラトリー、「シヴァ神の偉大なる夜」に際して、「ジャヤ・ジャヤ・シヴァ・シャムボー」の歌詞と音楽を創作しました。翌年 11 月にグルデーヴ・シッダ・ピートゥで、グルマーイは、衛星放送による初めてのグローバル・シッダ・ヨーガ・シャクティパート・インテンシヴを行い、世界中の 55 都市の何千人もの生徒や探究者にシャクティパート・ディークシャーを授けました。その時グルマーイは、このナーマサンキールタナをチャンティングしました。

このチャンティングの曲に命を吹き込むダルバーリー・カーナダー・ラーガは、夜に歌うことのできるラーガを望んだ名高い皇帝アクバルの要望によって、16 世紀の作曲家タンセーンがヒンドゥスターニー古典音楽にもたらした旋律のパターンです。ダルバーリーとはヒンディー語で「宮廷」を意味し、このラーガのラサ、「趣」は、勇敢さ、雄大さ、そして堂々たる壮麗さ——宮廷の特質のすべて——を呼び起こします。

ナーマサンキールタナとは、神聖な名前を歌にして繰り返すことです。シッダ・ヨーガの道では、このサンスクリット語の言葉は神の名をチャンティングする修行と、チャンティングする歌そのものの両方を指しています。音楽に乗せて神の名前を繰り返すことには、計り知れない力があります。私の 25 年間のサーダナーにおいて、ナーマサンキールタナはいつも極めて重要なものでした。ナーマサンキールタナは常に私の精神を高揚させます。サツァング・ホールで、私がシッダ・ヨーガのミュージシャンのリードグループの一員であろうと、応える側の一人であろうと、その体験は神聖なものです。ナーマサンキールタナが続いている間ずっと、私は、音——神の名前の祝福された音——を吸って吐いているのだと想像しています。

ナーマサンキールタナが私の存在の状態にもたらすポジティブな影響は即座に現れます。メロディーラインを聴いたり歌ったりしてチャンティングに自分自身を没頭させた途端、まるで音楽が残りを引き受けてくれるように感じます。とても簡単に、私の心とマインドの考えや感情—

—痛みや心配、あるいは悲しみなど——が浄化されます。チャンティングが続くに従って、私の全存在が愛にあふれるを感じるのです。

ですから、私たちはサーダカとして、再生と刷新に関連するナーマサンキールタナで、シッダ・ヨーガのチャンティングの修行に自分自身を没頭させましょう。シヴァの名前——「ジャヤ・ジャヤ・シヴァ・シャムボー」——をチャンティングすることによって、私たちの喜びと畏敬の念を刷新し、活性化させ、そして、私たちの内側と周囲すべてで神の壮大さを体験しましょう！



© 2022 SYDA Foundation®. 著作権所有。